

太田工業高等学校 同窓会報

第27号

平成10年10月1日
群馬県立
太田工業高等学校
同窓会
0276(45)4742

同窓会会員の皆様へ

会計 大 関 貞 夫

同窓会会員の皆様方におかれましては、公私共に活躍の事とご推察致します。一期生が卒業して早くも三十三年が経過し、職場や地域でそれぞれ立派な地位を築き上げて、忙しい日々を過ごしている事と思われます。また、会員の方々も家庭を持ち、幸せな生活をエンジョイしている事でしょう。

最近マスクミ等を賑わしている中高生によるナイフ等の殺傷や、一昨年太田市内で発生した、「おやじ狩」等の事件に関して、子供を持つ親として他人事では済まされない感じが致します。現状では親が忙しすぎて子供の変化や友人関係に気が付かないか、気が付いても何も注意しないか、どちらかだと思ふ。個人の考えでは子供は普通に健康で育ってくればそれが一番家庭的にも良いと思ふ。何か事件が発生すると、マスクミ関係者が教育現場に押し寄せ面白

半分取材を続ける。本当にこれでもいいのか考えさせられる時があります。最後になりますが、会員の皆様方も健康に留意し、会報第27号が手元に届きましたら、是非一読して母校の思い出話など家族と話し合えたら幸いかと思ひます。

赴任のご挨拶

校長 長 弘 之

この度の異動でこの四月、今野校長先生の後任として大泉高校より赴任しました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

会員の皆様におかれましては益々ご清祥にてご活躍の様子、心よりお喜び申し上げます。また、常日頃より母校発展のため、物心両面にわたる多大なるご指導ご支援ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。衷心より御礼申し上げます。

さて、本校には昭和三十八年から五十六年までの十八年間電気科教諭として、お世話になりました。

十八年ぶりに戻ってまいった訳であります。

この間卒業生は、九千名を越え県内は勿論のこと全国各地で活躍しており、心強く思うと同時に大変うれしく思ひます。本校は、こうした同窓生、PTA等、地域の大勢の方々のご支援に支えられ発展した学校であります。そして、また「地域社会から愛され信頼される学校づくりを目指して一生懸命取り組んでいる。」とも聞いております。前任の今野校長先生の後を汚すことのないよう本校の一層の飛躍を期して誠心誠意職務に専念する所存で御座いますので、なにとぞご指導ご鞭撻を賜りますようよろしく、お願い申し上げます。

平成十年度の生徒数は、男子六八二名、女子二六名計七〇八名です。昨年度及び今年度前半の在校生徒達の活動状況を述べて挨拶にかえたいと思ひます。

平成九年度は、さんフェア群馬九七第七回全国産業教育フェアに積極的に参加して素晴らしい成果を挙げたこと。アイディアアロボット六台・相撲ロボット八台が関東大会で大活躍。また、相撲ロボットは、全国大会にも出場を見事果たし太田工業高校の名声を天下に

知らしめる活躍をしたこと。資格試験では大変多くの生徒諸君が危険物・計算技術検定等合格。特に電気工事士試験の合格者が高い評価を得て、国家試験専門雑誌「電気と工事」の表紙を飾ったこと等。多くの在校生たちが各行事に積極的に参加し、活躍した訳であります。部活動も目を見張るものがあります。部活動も目を見張るものがあります。「陸上部・バスケットボール部・テニス部等、その他の部活動も良く健闘した」と聞いております。また、ヤングライスクッキングコンテスト大会では、所長賞・理事長賞獲得等の活躍もありました。

このような活躍は、一重に同窓会会員の皆様の暖かいご支援ご指導の賜物と学校を代表して心より改めて御礼申し上げます。

平成九年度の進路状況は、就職希望者一三九名(五五%)、進学希望者一一〇名(四五%)で進学希望者がわずかつ増加傾向にあります。大学の進学先の主なものは、群馬大学工学部夜間主コース、東京電機大学、埼玉工業大学、日本工業大学、湘南工科大学、足利工業大学、上武大学等二二名であります。

今年度は、陸上競技部が昨年に

引き続き関東大会で素晴らしい成績を挙げて全国高校総合体育大会に出場しました。関東大会での成績は、一一〇mH 優勝 四×一〇〇mR 三位 やり投げ 五位、全国大会では、リレー・やり投げが予選落ちする中、一一〇mH は、見事六位に入賞することができました。全国高校総体での入賞は、本校にとって初めての事であり、今回の活躍は正に快挙であります。バスケットボール部は、県高校強化大会で準優勝しております。その他の部活動も夏休みを返上して、それぞれ頑張っており組んでいるところであります。また、一方文化面では、太田市制五〇周年行事の一環として実施された「高校生議会」や中学生・高校生生徒指導健全シンポジウムに参加して高校生代表二人の内の一人として自分の意見を堂々と述べ、太田工業高校の存在をアピールすることができました。

以上、このような素晴らしい実績を持った伝統校を如何に継承し、充実・発展させたら良いかその責任の重さを感じています。在校生諸君たちは教職員の指導のもと、日頃の努力の成果が花開き夢や情熱、可能性などを十分発揮、将来の大きな糧になっていると思

います。

本校で熱心に活躍した多くの先輩の人達が、社会に出てから各方面で活躍しており学校としても大変誇りに思っております。お陰様で、太田工業高校は素晴らしい伝統校になったと聞いております。

最後になりますが、同窓会の皆様には、今後とも何かとお世話になります。ご指導ご鞭撻とご支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

太工生の誇りを持って

教頭 三浦 岳 俊

私の教員としての出発点は太工で、昭和四十一年に電気科の新米教師として赴任し、十三年間お世話になりました。その後、伊工に十七年間、渋工定時制に二年間勤務し、十九年ぶりに太工に戻ってくることができました。三十二年前赴任したときは、三期生が三年生のときでした。

当時の太工は創立より五年目で学校中に伝統校に負けるな、追いつき追い越せという気迫が先生にも生徒にもみなぎっていました。新米教師の私は授業が怖くて、予習をみっちりやっていました。それでも電気の問題を解くのに立ち

往生したり、間違えて生徒に教えてもらうなど失敗の連続でした。そんな私でも生徒と年齢が近いこともあって生徒とは兄貴分の感覚で付き合うことができました。

その頃から群馬県の各工業高校では資格指導に力を入れており、特に電気科では電気工事士の資格に力を入れておりました。合格率を高めるため、指導内容・指導方法については電気科職員で頻繁に検討会議を行った覚えがあります。生徒も我々の指導に良く従ってきてくれ、学科試験の一週間前ともなると、毎日放課後九時頃までも勉強しました。目標はいつも合格率百%でしたが、八〇人中七九人合格したのが最高でした。昭和五〇年頃は県下で最高の合格率であり、この一つの例をとっても生徒も教員も太工の一員であることは大きな誇りでした。

現在、本校では、生徒が力を発揮する場所が部活動はもちろん、工業の分野にも多くあります。電気工事士、危険物取扱者・ボイラー技士などの資格に多くの生徒が挑戦して成果を挙げています。また、平成三年頃より実施されている科目「課題研究」は生徒の希望で製作・研究などを行います。特に最近ではアイデアロボットの

製作、相撲ロボットの製作などが熱心に行われています。工業祭が毎年あるようなもので、放課後はおるか夏休みも毎日登校し製作に没頭しています。指導者は大変ですが生徒が自主性を発揮して活動するのを見るのは嬉しいものです。

時代が変わりましたが、今も生徒が太工生としての誇りを持って活躍しています。どうか同窓会員の皆様には後輩の活動を見守り、変わらぬご指導、ご声援をいただければ幸いです。

旧校舎に思う

二M 岡 島 幸 雄

天神山古墳の東にあった懐しい旧校舎も取り壊され、福祉短大に生まれ変わろうとしております。

体育の時間といえば、三角屋根の体育館建設の手伝いや、グラウンドの石拾いをしていたことを思い出します。

何の因果か、今市役所でこの短大設置に係わる事務を担当していますが、複雑な心境です。

東毛の中核都市として、製造品出荷額一兆四千億円を誇り、北関東第二位の工業都市として発展を続ける太田市ですが、その礎は、工業団地の整備と産業技術者の養

成にいち早く取り組んできたことによるものと思います。

そういう意味では、高度成長期に多くの産業技術者を送り出してきた太工の貢献度は、大きいものと考えます。

現在、市役所と消防組合には、太工OBが一〇四名おり、技術職や事務職として様々な職場で頑張っております。

また、市議会では、社会常任委員長として、佐藤孝夫議員（三期生）が、石川宏議員（十期生）は総務文教常任委員会副委員長として、それぞれ活躍しております。近年後輩の入職が少ないのが残念です。

移転後の太工へは、何度か仕事の関係で行きましたが、その折、旧校舎時代と違う最新設備に感心した思いがあります。

コンピューター・ハイテク時代にあつて、工業高校の存在や教育内容も問い直されているものと思えます。

市の行政事務も、その多くが、コンピューター処理されておりま

すし、今後ますます行政の情報化が進み、市役所には、地域情報の受発信基地としての役割が求められてきております。

リジエントビルとして、その真価を発揮すべく、より高度で効率的な行政サービスが提供できるようになっております。

また2Fには、情報センターもありますので、ぜひご利用いただきたいと思えます。高齢化・情報化・国際化の時代と言われていますが、個性豊かな特色ある街づくりが求められているのと同様、いま高校にも魅力あるユニークな教育内容が、特に実業高校には必要であると思っております。これからは地域産業振興の担い手として、太工が多くの人材を輩出してほしいと願っております。

新庁舎から金山の眺めは最高です。ぜひお立ち寄り下さい。

社会人となつて

二十六M 小林 邦 義

太田工業高校を卒業してから、はや8年が過ぎようとしています。現在私は、三洋電機株式会社冷凍機事業部でクリーンルーム機器の設計業務に携わっています。が、仕事の話をしてもしようがないので出張で二カ月程滞在したイギリスでの出来事を書いてみようと思ひます。

私が行ったのは、ロンドンから北へ約400kmのヨークと言う小

さな町です。まず不安だったのが「英語」、もともと高校時代から大嫌いだつた為、英語が喋れるはずも無く英会話の本を買って持つて行ったが、相手の喋っていることがさっぱり分からないので全然役にたかない。こんな事ならもう少し勉強しておけばと思つたがあのまつり。結局二カ月居たが全然進歩も無く、逆に余計英語が嫌いになってしまった。

次にとても驚いたのが、食べ物。何を食べてもまずい。唯一まともな食べられたのが中華料理。しかし、さすがに飽きてきてカップラーメンを買ってきて食べたがこれもまたまずい。逆に良かった所は、とても治安が良い。夜の十、十一時にフラフラしていても、大丈夫。また、非常にのどかでのんびりと過ごすにはうってつけ。古い石造りの建物が多いので街並みを見ているだけでも飽きが来ない。

イギリスに行く機会がありましたら絶対に「ヨーク」に行つてみて下さい。

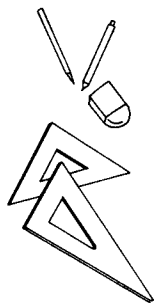
最後に、現在同じ職場に太田工業卒の先輩が何名か居り、大変面倒を見てもらっています。この場を借りて御礼を申し上げます。

時の流れ

五M 堀江 順一

昭和四十四年、太田工業高校を卒業して三洋電機に入社し、二十九年の月日が経ちました。最初に与えられた仕事は、製造部で冷蔵庫の組立でした。何秒に一台という速さで冷蔵庫が作られます。自分の仕事と言えば、四ミリのトラビスを一台に数本打つ工程でした。当時日産六百台位生産していましたが、一日数千本打つていたわけでした。それから、色々仕事は変わりましたが、いずれも簡単な単純作業でしたが、一日作業するとかかなり疲れました。一年が過ぎた頃、毎日の単純作業に飽きてきて、転職を考えていた矢先、技術部へ行くかとの話がありました。もともと転職を考えていたもので、技術部への異動、仕事の内容はともかくとして新たな闘志がみなぎってきたのを今でも覚えております。それから、二十八年間冷蔵庫、冷凍庫の設計業務に携わってきました。この間、いろいろな事がありました。技術部に異動して太田工業で学び役立ったことが、一つだけ深く印象に残っています。それは、製図の授業中、植原先生より、鉛筆の削り方で自

分は基本どおり削っていると、先生から実践では、普通に削り実線も細線もその一本で書くのだと教わり、その時は、よく理解できませんでした。技術部の部屋に入り先輩方の図面を描く姿を見て、シヨックを受けました。なんと皆さん鉛筆を普通に削り、器用に描いているではありませんか。この時、植原先生はまさに生きた授業をしていたのだなあと実感しました。そんな思い出も、今では、当時のドラフターが、キャダムシスラムに変貌し、設計の短縮化が図られ、ドラフターはどこえやら。自分も時代の波にのり遅れないよう必死に頑張ってきました。しかし、世の中、景気回復の兆しが見えず、今年の三月、他の会社へ出向を命じられ早五か月。初めは何故自分がという思いでいっぱいでしたが、時々、事業部の内部状況を聞くと、これでよかったのかなあと思う毎日です。今後、二十九年前の新入社員にもどり、当時の教えを思い出しながら、新たな人生に挑戦していきたいと思えます。



生かされて

定二M 中村康美

今、私の家族は、妻、娘二人、祖母の五人家族です。十代の時には当然の事ながら今の生活は考えもしなかった事です。妻と結婚するまで無我夢中で過ごした十代、二十代でしたが今子供達がその年頃になろうとしています。娘達を見ているとその当時のことを懐かしく思い出します。長女が社会人に次女が専門学校生と毎日を一生懸命に過ごしている姿を見ながらこのまま頑張ってほしいと願い又、仕事での悩みは、学校での悩みは、又、交通事故に遭わないだろうかとそんな事を考えてしまう私です。私は今時間と言う目に見えない物を手にしました。三十年間樹脂成型に携わってきましたが、その樹脂にピリオドをうち新しい仕事につきました。一緒に時間も手にしました。目に見えない時間を見える様にと地域の活動に参加をしたり、妻の両親と会う機会を増やしたり、祖母と旅行や子供達との食事と今まで出来なかった事を少しずつ実現して行こうと思っています。これからも家族の和を大切にしながら地域の皆さんに生かされて生きて行こうと思っています。

平成九年度 在校生の活躍状況

1部活動での活躍

(1)陸上部

①第52回国民体育大会出場

・森田純一(2MB)100m

②ジュニアオリンピック大会出場

・平井宏明(2MB)

110mハードル

③全国高等学校総合体育大会

(インターハイ)出場

・小澤直和(3MA)

110mハードル

・村田隆史(3EA)

走り高跳び

④関東陸上選手権大会出場

・小澤直和(3MA)

110mハードル

・星野貴之(3MB)

4×100mR

4×400mR

・村田隆史(3EA)

走り高跳び

・荻原隆光(3C)

4×400mR

・高橋徹(3C)

4×400mR

・中村勇(2MA)

4×100mR

・平井宏明(2MB)

110mハードル

4×100mR

4×400mR

・森田純一(2MB)

100m、200m

4×100mR

・中村尚貴(2EA)

4×400mR

・八木俊和(1E)

4×100mR

4×400mR

・大川佳孝(1JA)

4×100mR

4×400mR

⑤県高等学校総合体育大会

男子総合第5位

⑥県学校対抗陸上競技大会

総合第3位

(2)バスケットボール部

・県高等学校総合体育大会

ベスト8(第5位)

(3)野球部

・春季大会2回戦進出

・夏季選手権大会2回戦進出

・秋季大会3回戦進出

(2回戦の対育英戦では延長18回の熱戦を制す)

(4)ソフトテニス部

・県高等学校総合体育大会

団体戦ベスト8

2 工業科での活躍

(1) 全国産業教育フェア群馬大会

〔11/13(木)～16(日)〕での活躍

① 多くの生徒作品出展

・ 4 学科共同の大型作品「おしゃべり太工子ちゃん」大好評

・ ホバークラフト・ソーラーラジコンカー・スターリングカー・

ゴーカート・回転体感遊具・電車模型・住宅照明模型・エレベーター模型・ライントレーサー・ラジコン飛行機等々

② アイディアロボット6台、相撲ロボット8台製作し、挑戦した。

★相撲ロボット 関東大会を勝ち抜き全国大会出場(一般の部)

〔12/23(火)両国国技館〕

・ 五十嵐隆・木村裕一・小竹隆志・小林晃・今慎志・津島邦良・山中智史〔機械科3年〕

(2) 資格取得受験状況 下表参照

3 進路状況

(1) 進学受験

〔平成8年度〕

4 年制大学 21人合格

国立大学 4人

長岡技術科学大学

川島康彦 (3MA/城東中)

長田伸明 (3EA/城東中)

群馬大学教育学部技術科

濱 嘉孝 (3MB/館林二中)

群馬大学工学部夜間主コース

寺田秀典 (3MA/太田南中)

私立大学 17人 日本工業大学 5人

新井英郎 (3MB/太田南中)

中村博昭 (3EA/太田南中)

朝日康支 (3JA/笠懸中)

寺西孝朗 (3JA/城東中)

大島友和 (3JA/尾島中)

東京電機大学、芝浦工業大学、埼

玉工業大学、湘南工科大学、上武

大学ほか

短大、短期大学校 16人 小山職能

短期大学校、群馬短期大学校、日

本大学短期大学部、湘北短期大学、

桐生短期大学、足利短期大学、新

潟工業短期大学ほか

専門学校 86人 太田産業技術専門

校 6人、太田情報商科専門学校、

群馬自動車専門学校、埼玉工業大

学専門学校ほか

〔平成9年度〕

4 年生大学 23人合格

国立大学 2人

群馬大学工学部夜間主コース

大野和之 (3MA/大泉北中)

佐伯剛史 (3EA/大泉南中)

私立大学 21人 日本工業大学 7

人、東京電機大学 2人、足利工業

大学、埼玉工業大学、湘南

工科大学、上武大学、金沢

工業大学、東京農業大学ほ

か

短大、短期大学校 16人 小

山職能短期大学校、群馬短

期大学校、日本大学短期大

学部、湘北短期大学、桐生

短期大学、足利短期大学、

新潟工業短期大学ほか

専門学校 69人 太田産業技

術専門学校 6人、太田情報商

科専門学校、群馬自動車専門学校、

埼玉工業大学専門学校ほか

(2) 就職

平成8年度、9年度とも太田市と

周辺の優良企業に就職希望者全員

合格

富士重工業、三洋電機、日産ディ

ゼル、ミシユランオカモトタイ

ヤ、宮津製作所、新潟鉄工、群馬

日本電気、東亜工業、しげる工業

ほか

4 その他

(1) '97ヤング・ライスクッキングコ

ンテスト県大会

・ 前橋食糧事務所 所長賞

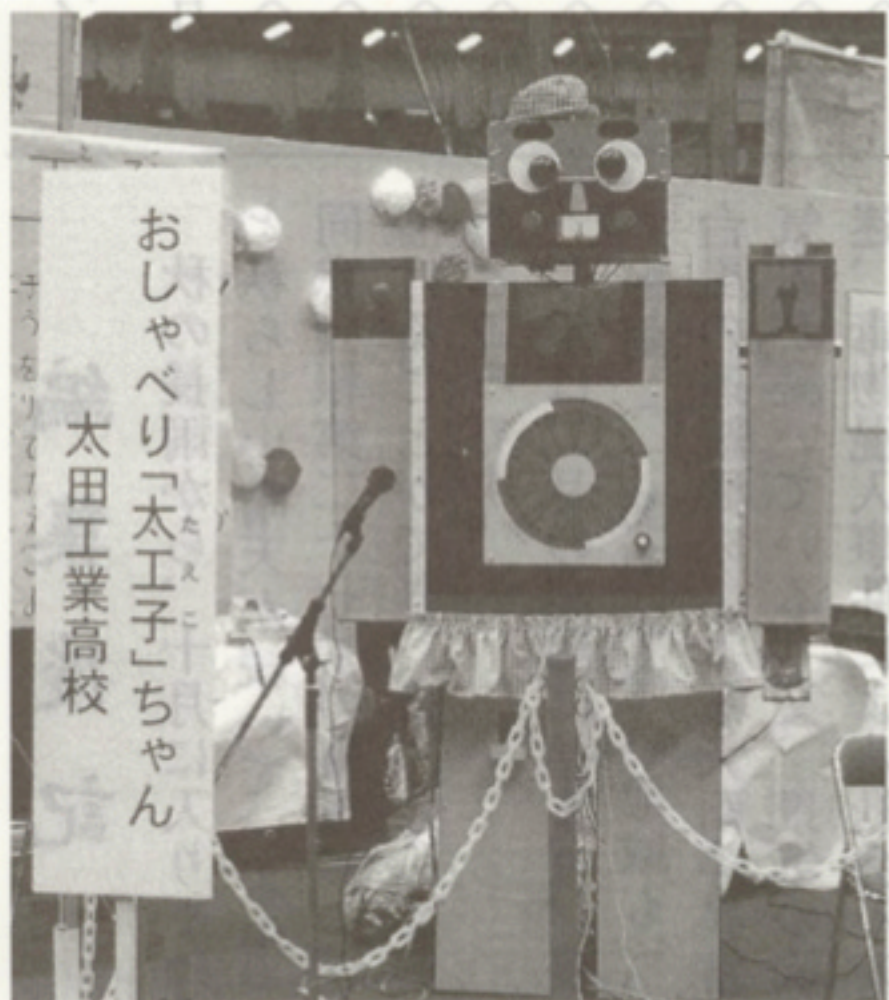
(高校生部門)

吉田直紀 (1E)

山崎学園 理事長賞

(高校生部門)

木村裕一 (3MB)



平成9年度進路状況および就職状況

進路状況【卒業生：246名（内女子13名）】

(3月18日現在)

就職希望	139名(6名)		進学希望	110名(7名)	
	内定	未定		内定	未定
学校紹介企業(勤)	98(4)	14(1)	四年制大学	22(1)	3
学校紹介企業(勤)	10(1)	0	短期大学	5(2)	0
その他(勤)	1	0	短期大学校	11(1)	0
公務員	1	0	技術専門学校	7	0
縁故就職	9	0	専修(専門)学校	61(2)	1(1)
自営	6	0			

※上記の数字には、就職進学者が3名含まれている。
※()内の数字は、内数で女子の数である。

進路志望の状況

平成9年度3年生の進路志望の内訳は、就職希望者が139名(55%)、進学希望者は110名(45%)です。昨年、平成8年度は就職希望者59%、進学希望者41%であり、一昨年、平成7年度は就職希望者53%、進学希望者47%で一昨年、平成6年度は就職希望者56%、進学希望者44%でありました。近年の傾向として少しづつ進学希望者

が増えてきています。

また、ここ数年の傾向ですが、就職するの進路するか志望がはつきりしない生徒がごく少数ですが増えていきます。家庭の状況等を考慮した上で、『将来に向けて自分はどうするか』という、自分の考えを持たなくてはいけません。自分の人生の当事者は自分です。それから、志望は決まっていますが、そのための努力が甘い生徒が多々います。『自分の将来のために今を頑張る』という思いを強くする必要があります。

就職に関する状況

求人数

求人会社数は、55社(群馬・281社、関東・144社、東京・80社、その他・53社)で、昨年度までの減少傾向に歯止めがかかり、大幅に増加しました。【平成8年度・440社、平成7年度・450社、平成6年度・554社、平成5年度・938社】しかし、夏以降の金融・証券業界の破綻を発端に、日本の経済(産業界)は冷え込んでしまい、各企業の求人活動も鈍ってきました。世の中の経済の動向は、直接自分の就職に関係してきます。みなさんは日頃から、新聞(特に第一面や経済面)をよく読んで、その動きをつかんでおく必要があります。

学校だより

職員異動 平成十年四月

- 今野 秀克校長 前 工へ
- 尾池 康雄教頭 桐 工へ
- 斉藤 隆先生(電気)前 工へ
- 徳井 保先生(電気)伊 工へ
- 前田 卓也先生(工化)赤城養へ
- 藤生 卓也先生(工化)教育セへ
- 空井 良範先生(機械)桐 工へ
- 小川 浩先生(社会)興陽高へ
- 飯塚 由佳先生(事務)西女高へ

次の先生方は新任の先生です。

- 長 弘之校長 大泉高より
- 三浦 岳俊教頭 洪 工より
- 柵木 裕先生(工化)桐 工より
- 関口 真先生(工化)館商工より
- 宇野 文治先生(機械)桐 工より
- 小林 重一先生(情報)館商工より
- 増井 恵子先生(事務)館 高より
- 山口 高志先生(社会)新採用

次の先生方が退職されました。

- 石川 忠男先生(電気)
 - 松本 博之先生(情報)
- 長い間ご苦勞様でした。

編集後記

秋の長雨から、十月に入りやつと秋らしい晴天が続いている中、同窓会報第二十七号の編集にこぎつけることができ、ほっとしているところでした。

今年は二月の高温に始まり、長い梅雨(一部明けない地域も)、台風の連続襲来による大雨等異常気象が続いている。又、景気の低迷、毒物混入事件による社会不安等々あまり良い話題がないので、せめて秋の夜長虫の声を聞きながら、中秋の名月を眺め風流を味わってみたい気分である。

さて、同窓会報を発行するに当たり、先生方、同窓会員の皆さんより原稿を戴き大変有り難うございました。又、長い間同窓会本部役員として活躍下さいました石川先生がこの度退職されましたが、大変お疲れさまでした。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

最後になりましたが、同窓会発展のため今後ともよろしくご協力をお願い申し上げます。

(天ヶ谷記)

